

第47回防衛問題セミナー概要

日時：令和8年2月21日（土）13：30～16：00

場所：佐賀県立男女共同参画センター アバンセ（佐賀県佐賀市天神3-2-11 どんどんの森内）

◇ テーマ 「WPS～女性が創る平和の未来～」

- 第1部
「防衛省と女性・平和・安全保障（WPS）～国内外における取組と進展～」
防衛省防衛政策局インド太平洋地域参事官付女性・平和・安全保障（WPS）国際連携室長
防衛省ジェンダー・アドバイザー **松沢 朝子**
- 第2部
「WPSの現場から ～多様な視点と得た力～」
陸上自衛隊第2特科団長兼ねて湯布院駐屯地司令 **横田 紀子**
- 第3部
第1部、第2部の質疑応答、フリーディスカッション
講師2名に加え 自衛隊佐賀地方協力本部長 **佐々木 眞秀路**



伊藤九州防衛局長

2月21日（土）佐賀県立男女共同参画センターアバンセ（佐賀県佐賀市）において、「WPS～女性が創る平和の未来～」と題し、九州防衛局主催の第47回防衛問題セミナーを実施しました（来場者約150名）。

講演に先立ち、伊藤九州防衛局長から開演挨拶を行いました。また、内閣府副大臣 岩田と親衆議院議員にもご来場いただき、防衛問題セミナー開催にかかるお祝いのお言葉をいただきました。

第1部では「防衛省と女性・平和・安全保障（WPS）～国内外における取組と進展～」と題し、防衛政策局インド太平洋地域参事官付女性・平和・安全保障（WPS）国際連携室の松沢朝子室長による講演が行われました。

WPSが国連採択された背景や国際社会の動き、防衛省がWPSの推進に取り組む意義や必要性を解説しながら、防衛省における取り組み状況などについて講演しました。

防衛省におけるWPSの取り組みは同盟国、同志国と比較してもトップレベルであり、WPS推進はここ数年で急激に進み、いまや諸外国の手本となっていると、自信を持って発信しました。



岩田衆議院議員



松沢WPS国際連携室長



横田第2 特科団長

第2部では「W P Sの現場から～多様な視点と得た力～」と題し、陸上自衛隊第2 特科団長兼ねて湯布院駐屯地司令の横田紀子陸将補による講演が行われました。陸上自衛隊初の女性将官として、W P Sを推進していくにあたり気を付けていることや、逆にジェンダーを必要以上に意識しないことなどについて、自身の経験を交えながら講演しました。

また、W P Sを特別な取組として捉えるのではなく、男女ともにチームにいることが任務を遂行する上で重要であり、日々の積み重ねが持続的な平和に資することができるとの認識を共有しました。

第3部では、第1部と第2部の講師に加え、自衛隊佐賀地方協力本部の佐々木眞秀路本部長による、質疑応答およびフリーディスカッションを行いました。



参加者の皆様から「W P Sを浸透させるための防衛省内のセミナーや教育の義務化はどのようにして実現しましたか。」「一般市民にできることはありますか。」「女性隊員が活躍できる場はたくさんありますか。」などの多くの質問をいただき、講師それぞれの立場から各質問にお答えしました。



質疑応答及びフリーディスカッション

来場者からは、「自衛隊の皆さんがこうした取り組みをされていることを知ることができ、とても心強く、私たちもこの取り組みの輪を広げていこうと思った。」「W P Sは武力紛争時のみを想定した概念かと考えていたが、災害時もスコープに含まれている点が日本らしく感じた。」「現場で奮闘されてきた中で発せられる言葉に大変説得力があり、示唆に富む、非常に勉強になった。」「女性自衛官がより増えることを期待している。」などのご意見をいただきました。

九州防衛局では、防衛政策や防衛省・自衛隊の活動等について、国民の皆様により一層ご理解・ご協力いただけるよう、今後も防衛問題セミナーを開催してまいります。



会場風景